このまちがもっと、このまちらしく輝くためのソウゾウ開化…
「はっち」が贈る、おいしい情報。

まちとともに歩むこれから
はっちの3周年、八戸ビューティ

はちのへ演劇祭、アートプロデュース講座
みんなで作り上げる、舞台作品

八戸えんぶり
未来へと引き継がれる伝統

hacchi event programs イベント情報

年末年始に伴い、12月30日(月)は18:00閉館、1月2日(木)・3日(金)は10:00〜18:00開館となります。
また、2月11日(火・祝)は3周年事業のため開館、2月25日(火)が振替休館となります。

■兼松正直&市川侑乃エレクトーン・デュオ・コンサート
〜2人で奏でるクラシックの世界〜

1月4日(土) 開場 17:30 開演 18:00
2階 シアター2
問合せ：[studio E-classic] electone.classicat@gmail.com

■はちのへおもちゃ病院

1月12日(日)・2月16日(日) 10:00〜12:00
5階 共同スタジオ 問合せ：こどもはっち 0178-22-5822

■今川和男 馬を描く展

1月20日(月)〜23日(木) 10:00〜18:00 ※最終日は 17:00 まで
1階 ギャラリー1 問合せ：今川 090-7337-8687

■第50回八戸市中学校生徒美術展

1月24日(金)〜26日(日) 9:00〜17:00 ※初日は 13:00 から 最終日は 16:00 まで
1階 ギャラリー1・シアター1・はっちひろば
問合せ：八戸市立三条中学校 0178-27-2126

■「文集はちのへ」創刊60周年記念展

2月15日(土)〜23日(日) 9:00〜17:00 ※最終日は 15:00 まで
3階 ギャラリー3
問合せ：教育委員会指導課 0178-43-9519

＊■はちのへ雛めぐり

3月1日(土)〜23日(日) 9:00〜18:00
3階 ギャラリー3

＊■きぼうのて写真展2

3月5日(水)〜16日(日) 9:00〜21:00 ※最終日は 18:00 まで
2階 ギャラリー2

＊■ミニクラフト市2014

3月21日(金・祝)〜23日(日) 10:00〜17:00 ※初日は 11:00 から
1階 ギャラリー1・シアター1・はっちひろば

■Dance×Dance×Dance

3月23日(日) ①13:30〜 ②18:30〜
2階 シアター2
問合せ：八戸ダンスプロジェクト実行委員会 0178-46-2925

＊■〜ものづくり作家によるおもてなし〜 第2木曜日の自遊空感

1月9日(木) ※2・3月は開催しません。
4階 リビング4

＊■モヨッテ参道の日 〜中心街におしゃれして出かけよう〜

1月18日(土)・19日(日)
2月15日(土)・16日(日)
3月15日(土)・16日(日)

＊■和日カフェ 〜日本文化に親しむ日〜

1月19日(日)・2月16日(日)・3月16日(日)
3階 和のスタジオほか

＊が付いているイベントは、はっちの自主事業です。

information 市内施設情報

八戸市美術館

■コレクション展Ⅲ『戸村 茂樹展』

1月25日(土)〜3月23日(日)
緻密で精巧な描写で自然を描く戸村茂樹の世界を版画・ドローイングにより紹介します。

【主な展示作品】
《刻触樹Ⅲ》、《大地に映る》、《森へ続く道Ⅰ》ほか

戸村 茂樹
《森へ続く道Ⅰ》2001年

開館時間 9:00〜17:00(受付は16:30まで)
休館日 1月27日・2月10日・12日・24日・3月10日・17日
問合せ TEL.0178-45-8338
http://www.city.hachinohe.aomori.jp/art/

八戸市博物館

■企画展『えんぶり・ひな人形展』

2月1日(土)〜3月9日(日)
えんぶり展では、八戸を代表する伝統行事のえんぶりを実際の道具と映像で紹介します。ひな人形展では、日本各地の郷土雛を紹介します。様々な姿のひな人形たちに会いに来ませんか。

郷土雛（八戸市博物館所蔵）

開館時間 9:00〜17:00(入館は16:30まで)
休館日 2月10日・12日・24日
問合せ TEL.0178-44-8111
http://www.hachinohe.ed.jp/haku/

八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館

■考古学講座 要予約・参加無料

1月11日(土)14:00〜16:00
『縄文時代前半期の環境変動と集落生態系』
講師：辻 誠一郎氏
(東京大学大学院新領域創成科学研究科 教授)

中居遺跡 土坑墓と人骨

2月8日(土)14:00〜16:00
『われわれ日本人はどこからきたのか』
講師：篠田 謙一氏
(国立科学博物館人類研究部 人類史研究グループ長)

3月22日(土)14:00〜16:00
【特別講演】『動物と環境と人びとのくらし』
講師：小林 和彦(八戸市埋蔵文化財センター 是川縄文館 館長)

開館時間 9:00〜17:00(受付は16:30まで)
休館日 1月14日・20日・27日・2月10日・12日・17日・24日
3月10日・17日・24日・31日
問合せ TEL.0178-38-9511
http://www.korekawa-jomon.jp/

hacchi news はっちニュース

はっちとカネイリがグッドデザイン賞※を受賞！

GOOD DESIGN AWARD 2013

※デザインを通じて産業や生活文化を向上させる運動として、国内外の企業や団体などが参加する世界的なデザイン賞。

今年10月、八戸市内から4組が受賞したグッドデザイン賞では、昨年の「八戸レビュウ」に続いて2年連続で「はっち」も受賞。はっちの「市民が主役となり、地域づくりに参画できる仕組み」を評価いただきました。
また、1階「カネイリミュージアムショップ」と4階「工房『澄』」との共同開発商品も受賞。
今回の受賞は、はっちをご利用されているみなさまと一緒に受賞したものであり、八戸のまちがさらに元気になるような企画をこれからも発信していきます。

〈はっち情報発信中!!〉
https://www.facebook.com/hacchi8
https://twitter.com/hacchi_staff
iPhone 無料アプリ i8nohe(あい・はちのへ)
その他、各社新聞、コミュニティラジオ BeFM でも情報発信中です。

streets event まちなか情報

■まちなかチャレンジショップ『てより』

空き店舗を利用した『まちなかチャレンジショップ てより』が10月にオープン。手作り品を中心に、温もりあふれる9店が入った小さなショッピングモールです。

場 所 青森県八戸市三日町13-4
営業時間 10:00〜19:00(毎週火曜日定休日)
問合せ 0178-20-0232

■はちのへ雛めぐり

江戸・明治期の時代雛から華やかな現代雛まで、美しい雛人形を「更上閣」「南部会館」「はっち」で展示。そのほか、「雛めぐり」にちなんだサービスや特典が受けられる店舗もありますので、まちなか回遊を楽しんでみてはいかがですか。

日 時 3月1日(土)〜23日(日)
問合せ 更上閣 0178-22-2260
南部会館 0178-43-9202
はっち 0178-22-8228

八戸ポータルミュージアム「はっち」は
地域の資源を大事に想いながら新しい魅力を創り出すところ。
まちづくり、文化芸術、観光、ものづくり、子育てを軸とした活動を
サポートする多様な設備を備えています。

八戸ポータルミュージアムはっち http://hacchi.jp
TEL.0178-22-8228 FAX.0178-22-8808
〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1
開館時間／9:00〜21:00 ※こどもはっち開館時間 9:30〜16:30
休館日／毎月第2火曜日(2月のみ11日開館、25日振替休館)、12月31日及び1月1日

[交通のご案内]
バス／八戸駅東口からバス八戸市中心街方面行き[約25分]
八戸中心街ターミナル(八日町)下車すぐ
JR／八戸駅からJR八戸線本八戸駅下車[徒歩約11分]
車／八戸駅から車で[約15分]
※一般来館者の駐車場はございません。
お近くの有料駐車場をご利用ください。

はっちリレーショナルプレス［はちみつ］vol.15
発行：八戸市 まちづくり文化スポーツ観光部 八戸ポータルミュージアム 発行月：平成25年12月
印刷部数 15,000部 印刷経費 1部あたり 27.0円

3th hacchi Anniversary

平成 26 年 2 月 11 日ではっちは開館 3 周年を迎えます。
まちのみなさまと一緒に歩んで来たこの 3 年間ー。これからもはっちは、八戸の魅力を発掘・発信し、八戸で暮らすひとびとや文化が輝く場所として活動していきます。
そして、この 3 周年を機に、八戸の魅力をさまざまなかたちで市内外のひとびとへ伝えるべく、『八戸ビューティ』として『BIG 南部裂織』『ライトショーフェスティバル』『ショートムービーズ』をお披露目します。

hachinohe beauty

光が生み出す新たな魅力

八戸ライトショーフェスティバル［八戸ビューティ］

八戸市中心街を舞台としたライトショーフェスティバル。建物や空間に投影される多様なイメージが、八戸のまちに潜む『場の力』を引き出します。全国公募で集まった5組のアーティストが、プロジェクションマッピング等の映像で八戸ならではの魅力や価値を表現します。

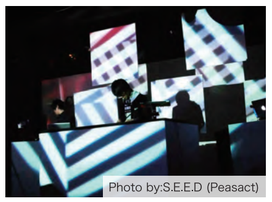


Photo by:S.E.E.D (Peasact)

※写真はイメージです。

［期間］２月８日［土］～11 日［火・祝］14:00～20:00
［アーティスト］ゼロニウム、専門学校デジタルアーツ仙台 CG クリエイター科、Peasact、釜石拓真、VJ FATTY
［監修］川村行治（インセクト・マイクロエージェンシー）、タカヨシ（OVERHEADS）
［特別協賛］エプソン販売株式会社
［協力］エプソンアトミックス株式会社、株式会社 江陽閣、八戸酒造 男山ビル、いわとくパルコ

街が光の魔法にかかる

八戸ライトショーツアー

中心市街地で開催するライトショーフェスティバルの会場を見て回るツアー。各会場では、アーティストによる作品説明を聞くことができます。

［日時］２月８日［土］15:30～16:30
［対象］小学生以上　［定員］30 名　［申込締切］２月３日［月］

音楽とダンスで華やかに

はっちの３周年オープニングセレモニー

はっちの3周年を祝い、音楽から始まるセレモニーを開催。音楽やダンスで大人からこどもまで、にぎやかで楽しいはっち流の時間をすごしませんか？

［日時］２月８日［土］15:00～15:30
［出演］
類家 心平（トランペッター）、中嶋 錠二（ピアニスト）、Augusta Summit Band 浪男's DX（ディキシーランド・ジャズバンド）ほか

東京から、八戸に帰る。そのたびに、からだにしみ込んだ南部弁が、家族との会話が、蕪島の岩場での釣りが、ぼくの心を本来あるべき場所へともどしてくれる。家の近くの五戸川では、寒い時期には川を遡上した鮭が、ゆらゆら身をくねらせているのを見ることができる。この土手は、ぼくが小学から高校時代まで、当時飼っていた犬を散歩させたところだ。いまでもそこを歩けば、未知の将来への夢や恋心を抱いていたかつての自分を思いだす。幼いなりに切実だった時間。そのときの心もちを思いだすと、からだが少し厚みを増したように感じられる。自分の存在が、それほどくだらなく無意味でもないのだと思わせてくれる。

いつまでもそのままであってほしいなんて、虫のいい感傷だ。けれど、あの震災と原発事故は、ふるさとがいつまでもふるさとのままであるとはかぎらないことを、突きつけたのではなかったか。

現在も進行中であるその事態に対して、ぼくらは次の世代にどんな八戸を残せるのだろう。

力を合わせよう。みんなで。心から。

文／木村 友祐 きむら ゆうすけ (1970～)
青森県八戸市生まれ。小説家。日本大学藝術学部文芸学科卒業。
2009年(平成21)に『海猫ツリーハウス』で第33回すばる文学賞を受賞。2010年(平成22)八戸市文化奨励賞。2012年(平成24)には『イサの氾濫』で第25回三島由紀夫賞候補。はっちオープニング事業「八戸レビュウ」では、市民ライターへの文章指導を担当した。

撮影 / 馬淵川下流（八戸市）

あの激闘が再び…!!
『八戸せんべい汁ロボコン』

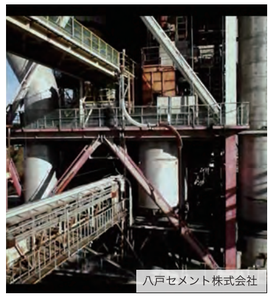
昨年、地域資源である「加賀美流騎馬打毬」と「中学生ロボコン」を組み合わせ開催した、「はっち流騎馬打毬」。それに参加した市民メンバーが核となり、今年は、「八戸せんべい汁」をテーマに、ロボコン大会を行います。ロボットを操作してサイコロ型の具材を集め、八戸せんべい汁を完成させるゲームです。ぜひ、ご参加ください。

【参加者募集中】

［日時］２月11日［火・祝］10:00〜16:00
［参加料］3,000 円＋創意工夫代
［対象］小学生以上
［ワークショップ］12 月〜２月に数回開催します。
※日程等お問い合わせください。
［問合せ］hachinohe.shimin.robocon@gmail.com
［主催］八戸市民ロボコン大会実行委員会　［共催］八戸市
［協力］八戸せんべい汁研究所　［協賛］ENVISI

hachinohe beauty

八戸の風土で磨かれた多様な美。八戸の「美」と出会うための接点を展開していく［八戸ビューティ］プロジェクト。今年は映像や南部裂織を通して美を発見し、表現していきます。


八戸セメント株式会社

hachinohe beauty

見えない本質を映し出す
ショートムービーズ［八戸ビューティ］

ふだん見えない八戸の本質や美を、映像を通して可視化する『ショートムービーズ』。今年は2組の映像作家の作品を上映するほか、はっちのウェブサイトやユーチューブからも映像配信を行います。

マルチコプター等で、八戸独自の風景や場所を今までとは違った角度から切り取ったワインスタジオスと、八戸を舞台とした架空の映画の予告編を作成したライトソースフィルム。アーティストの目によって映し出される八戸の魅力をお楽しみください。

WINE studios　　佐藤 利美・長内 正雄
仙台市に本社を置く映像制作スタジオ。東日本を中心に、TVCM や企業広報、公共的分野での作品制作などを行っている。

light source film　　佐藤 浩幸
仙台市を拠点としながら、東北各所、東京などを中心に映像 CM 等の広告のプランニング、ディレクションなどを行っている。

［期間］２月８日［土］〜24日［月］9:00〜21:00
［アーティスト］WINE studios〈佐藤 利美・長内 正雄〉
light source film〈佐藤 浩幸〉
※全作品、２月８日［土］より、はっちのウェブサイト上でも鑑賞可能となります。

トランペット：類家 心平
ピアノ：中嶋 錠二

ニューアルバム「N.40°」発売記念
類家 心平 × 中嶋 錠二 ジャズライブ

八戸出身の類家心平さんと中嶋錠二さんによるジャズライブを開催します。ソロ活動や菊地成孔氏などとの共演で全国的に高い評価を得ている類家さんと、ジャズトリオのリーダーとして都内を中心に活動する中嶋さんとのデュオライブは八戸では初。本ライブは、デュオで制作したニューアルバム発売ライブとなります。アルバムもライブも必聴、『ジャズのまち八戸』が盛り上がる熱い夜となるでしょう。

類家 心平 るいけ しんぺい
青森県八戸市出身のジャズミュージシャン、トランペッター。海上自衛隊を退隊後上京し、ジャズは元より、多くのミュージシャンと共演するなど、幅広く活動している。

中嶋 錠二 なかじま じょうじ
青森県八戸市出身のピアニスト。高校までクラシックピアノを学び、尚美学園大学ジャズ＆ポップスコース入学。坪口昌恭氏に師事し、ジャズピアノを学ぶ。

［日時］２月９日［日］①16:00〜 ②18:30〜
※各回 30 分前開場、入替制・料金別
［定員］各回 100 名
［チケット］前売 2,500 円　当日 3,000 円
※1 月８日［水］よりはっち１階インフォメーションにて販売。

サンドイッチ片手にアーティストトーク＆VJ
3（サン）ドイッチナイト

ものづくりスタジオ特製の３（サン）ドイッチとドリンクを楽しみながら、ライトショーフェスティバルとショートムービーズのアーティストによるトークイベントを開催します。はっちひろばが映像と音楽によってアートな空間へと変わります。

※写真はイメージです。

［日時］２月８日［土］18:00〜
［出店店舗］
たまに庵の一ぼ、Sports Café RUOTE 、里山夢食堂、very berry juice、りんごの木

オールフロアコンサート !!
２月８日［土］16:30〜18:00 の間、館内がゆるやかな音楽でつつまれます。ボサノバなどの音楽を聴きながらはっちの３周年を楽しみましょう♫

ものづくりスタジオ入居者募集中
はっちは、新たに起業するものづくり作家を支援します

食のものづくりスタジオ

ものづくりスタジオ

※写真はイメージです。

はっちでは、工房兼ショップの「ものづくりスタジオ」と「食のものづくりスタジオ」の入居者を募集しています。
あなたの小さなショップを始めませんか？

【募集内容】

■食のものづくりスタジオ（入居料：20,570 円／月）
［募集店舗］２階１店舗、３階２店舗
［ジャンル］飲食、ドリンクスタンド、スイーツ、食材販売など

■ものづくりスタジオ（入居料：15,420 円／月）
［募集店舗］４階４店舗
［ジャンル］例）クラフト（陶磁器・ガラス・金属加工・木工・フェルトなど）、デザイン、アクセサリー、雑貨、楽器など

【応募締切】　2014 年 1 月 24 日［金］
【入居予定日】　2014 年 4 月 1 日［火］

詳しい内容は、はっちまでお気軽にご相談ください。
TEL.0178-22-8228　http://hacchi.jp

【はっちの３周年関連企画】
日本−韓国ダンス交流プロジェクト
『Dance Connection』Seize the day- 二つのからだ、二つの記憶　八戸公演

日本と韓国のダンサーが、横浜とソウルでのレジデンス（滞在制作）を経て共同制作にチャレンジ。言葉や文化、ダンスの性格も異なる相手との交流や議論を通じ、新しい視点で制作に取り組みます。日本での上演は、横浜と八戸のみ。新進気鋭のダンサーの作品をお見逃しなく。

シマダタダシ
Photo:KAWAKAMI Tomoyuki

キム・クァンミン

Seoul Performing Arts Festival(SPAF)
ⓒSang Hoon Ok

［日時］１月30 日［木］開演 19:00〜（開場 18:30）
［出演］シマダタダシ、キム・クァンミン
［チケット］一般 / 前売 1,500 円　当日 2,000 円
学生 / 前売 1,000 円　当日 1,500 円（小・中・高・大学生）
※八戸ポータルミュージアム、JCDN ダンスリザーブ（WEB予約）にて発売
［主催］横浜赤レンガ倉庫１号館（公益法人横浜市芸術文化振興財団）、八戸市
［共催］Seoul Performing Arts Festival　［支援］文化庁
［協力］象の鼻テラス、急な坂スタジオ、八戸ポータルミュージアム　［助成］公益財団法人日韓文化交流基金

南部裂織ファッションショー

［日時］２月９日［日］13:45〜14:30
［協力］青森県伝統工芸士
井上 澄子（工房 澄代表）ほか
［振付］昆 賀子（昆賀子モダンダンススタジオ代表）

南部裂織をもっと身近にするために、裂織アイテムを取り入れたスタイルをご紹介します。洋服をはじめ、帽子やブローチからショールまで…。裂織の現代性とファッション性が体験できるはずです。

BIG 南部裂織展示

［期間］２月９日［日］〜24日［月］

市民が織り上げた巨大な南部裂織をご披露します。赤、青、緑、黄の 4 色の縦糸と古布が織り成す華麗な色彩をお楽しみください。
※2 月 9 日［日］13:30 から、BIG 南部裂織除幕式を開催します。

ひとりひとりの想いを紡ぐ
BIG 南部裂織プロジェクト［八戸ビューティ］

江戸時代から伝わる南部裂織。古布を再生するエコの思想と八戸の美的感覚が融合した織物です。100 年以上使用可能な裂織の思想と美を未来へと伝えていきます。

はっちでは４月から半年間にわたり、市民の方をはじめ、来館者約 500 人と力を合わせて、32 畳のタペストリーが完成しました。

２月９日には、巨大な南部裂織のお披露目と裂織ファッションショーを開催します。

hachinohe beauty

年の初めの豊作祈願 八戸えんぶり

2/17［月］▼20［木］

知ってるようで知らない!? えんぶり知恵袋1

そもそもえんぶりとは…

八戸市及び周辺町村で行われる、年の初めにその年の豊作を祈願して神様に奉納する舞で、地域の人々が集まって楽しむ踊りでもありました。もともとは小正月（1月15日）に行われていましたが、現在では2月17日から20日まで行われています。

えんぶりの特徴は、太夫（たゆう）と呼ばれる舞手が馬の頭を象った華やかな烏帽子（えぼし）をかぶり、唄にあわせて頭を振る独特の舞です。太夫の舞の間には、「えんこえんこ」、「えびす舞」、「大黒舞」などの祝福芸が舞われます。

知ってるようで知らない!? えんぶり知恵袋2

えんぶりの由来とは…

田んぼの土をならす朳（えぶり）という農具を持って舞ったことから、「えんぶり」と呼ばれるようになりました。稲作の一連の動作である、種まきや田植えなどの稲作の一連の動作を表現した舞です。

土を摺る（する）動きなので、えんぶりでは踊ることを「摺る」といいます。

踊りそのものが田植えの動きを表しており、農業とは切っても切れない関係にあるのがえんぶりなのです。

えんぶり公演 in はっち
[期間] 2月17日 [月]～20日 [木]
①12:00～　②17:00～
※17日は②のみ開催

[出演組]
八戸市庁郷土芸能保存会、山道えんぶり組、妙えんぶり組、重地えんぶり組、仲町えんぶり組、内丸えんぶり組、大久保えんぶり組

えんぶり空間写真展
『凍てつく大地に根を張って』
[期間] 2月12日 [水]～23日 [日]
9:00～21:00

はっち特派員のメンバーによるえんぶり写真展です。

えんぶりシアター
[期間] 2月17日 [月]～20日 [木]
9:00～21:00

えんぶりの練習風景を上映。伝統が引き継がれ、祭りができあがるまでの様子をご堪能ください。

えんぶり衣装着付け体験
[期　間] 2月17日 [月]～20日 [木]
13:00～17:00
[体験料] 200円（手ぬぐい・ガイドブック付）

えんぶり組でなければ着ることのできない衣装を着ることができる貴重な体験です。

お休み処　えんこえんこ
[期間] 2月17日 [月]～20日 [木]
10:00～15:00

えんぶり鑑賞の休憩に 4 階の「えんこえんこ」はいかがですか？美味しいお茶とお菓子をご用意してお待ちしております。

ミニえぼしをつくろう!!
[期間] 2月18日 [火]～20日 [木]
①10:00～12:00
②13:00～15:00

えんぶり作品展示

えんぶり期間中、運が良ければ作家ご本人に会えるかも!?

えんぶり和紙人形作品展
[期間] 2月17日 [月]～24日 [月] 9:00～21:00
[作家] 和井田 良子（創作和紙人形作家）

江戸時代のえんぶり行列を再現した作品です。

[2階えんぶり常設展示]

朳和紙人形展示　[作家] 高橋 寛子（朳和紙人形作家）
えんぶりに込められた『祈り』を表現した作品です。

えんぶりジオラマ展示　[作家] 下崎 雅之
作家の幼少期の記憶を元に、当時のえんぶりの様子を再現した作品です。

市内で行われる『八戸えんぶり』の日程などに関する詳しい情報は八戸観光コンベンション協会のホームページをご覧ください。
http://www.hachinohe-cb.jp/enburi

こどもはっち
◆ kodomo hacchi ◆

[開館時間] 9:30～16:30　[入場料] 100円（未就学児無料）
[定休日] 毎月第２火曜日　[問合せ] TEL.0178-22-5822
※1月2日・3日は10:00～16:30営業となります。2月11日は３周年のため営業、25日に振替休業となります。

乳幼児から安全に楽しめる木のおもちゃや遊具がたくさん!!

こどもはっちでは、親子で楽しく学べる取り組みをしています。定期的に開催している「ちびっこダンス」「きらきらたいそう」「おやこヨガ教室」では、年齢に合わせて親子で楽しく、自宅でも簡単にできる内容をご紹介しています。これからの季節、外遊びやお散歩が難しいときにもおすすめです。

各イベント参加は無料ですので、こどもはっちまでお気軽にお問合せください。

みんな仲良くダンシング♪ ちびっこダンス

音楽に合わせて、ダンスでコミュニケーションをとります。
[対象] 2歳～就学前の親子

体を動かしてぽっかぽか！ きらきらたいそう

3種類の道具を使った親子版の3B体操を取り入れた運動です。
[対象] 就学前の親子

親子でリラックス★ おやこヨガ教室

お子様と触れ合いながら、ヨガを楽しく体験できます。
[対象] 就学前の親子

※それぞれの開催日・定員等については、こどもはっちまでお問合せください。

1～3月のイベント情報

■こどもはっちの豆まき
2月2日[日]①10:30～ ②13:00～
4階 こどもはっち
[対象] 就学前の親子
※当日参加可能です!!

■なりきりおひなさま
3月2日[日]
①10:30～11:30
②13:30～14:30
1階 はっちひろば
[対象] 2歳～小学2年生
衣装持込み大歓迎です。カメラをご持参ください。
2月1日 [土] からこどもはっちにて受付開始。

http://www.kodomohacchi.com

写真は第１回はちのへ演劇祭の様子です。

演劇祭が起爆剤となり八戸の演劇界を活性化する

かつて、劇団が20団体近くあり、『演劇のまち』と言われた八戸。しかし、現在では劇団の数も数えるほどとなり、演劇が盛んだった面影は残されていません。

そのような中、「若者が演劇について身近に触れ、共に新しいものを創ることが八戸の演劇界を活性化する処方せんになる」と考え、平成24年10月～11月にかけ、「第1回はちのへ演劇祭」を開催しました。そして今年、若手を中心とした委員会が結成され、第2回はちのへ演劇祭の企画・練習に励んでいます。

まぐねっと.comの練習風景

劇団 INTELVISTA 公演の様子

Interview 今回の演劇祭の見所と演劇祭にかける想いについて

今年もやります！はちのへ演劇祭！今年は『若手中心』と『他地区の参加』が見所です。

今回は実行委員会をリニューアルし、20代から30代のメンバーを中心に構成。前回の演劇祭をきっかけにできた劇団も参加します。八戸市だけでなく、青森市・盛岡市の若手中心のエネルギッシュな演劇祭をお届けします。

『演劇のまち八戸』の復活を目指し、若手の力で観客を魅了する3日間。どうぞお楽しみください。

［はちのへ演劇祭実行委員会 代表　榊 武昭］

アクトプロジェクト Toy Box の練習風景

第２回 はちのへ演劇祭
3月14日(金)～16日(日)

[チケット] ※はっちインフォメーションにて1月中旬から発売開始。
一　　般：1,200円(前売)/1,500円(当日)
高校生以下：700円(前売)/1,000円(当日)
※公演単位はショート２作品で１公演、ロング１作品で１公演とし、各劇団は２回ずつ作品を上演します。なお、チケットは１公演ごとに必要となります。
※ショート…30～45分作品を上演する劇団
　ロング　…60分作品を上演する劇団

[出演団体]
アクトプロジェクト Toy Box（代表:榊武昭）、劇団INTELVISTA（代表:赤沼哲史）、まぐねっと.com（代表:さゆ○、のざろう）、吉田美香、青森大学 演劇団 健康〔青森市〕（代表:村下直光）、劇団コトナコナタ〔盛岡市〕（代表:稲邊弘康）

力を合わせてひとつの舞台を！ アートプロジェクト制作実践入門講座

『八戸をアートで面白くしたい！』そんな熱い思いを持った人たちが集まって
アートプロジェクトの制作過程を学んでいく本講座。
舞台作品を一から作り上げることを通して
これからの八戸のアートを学ぶ人材が育っています。

アートを学ぶとは？

今年9月からスタートしたアートプロジェクト制作実践入門講座。この講座では、企画や広報、舞台技術などの基礎講義から、作品の構成や演出まで、ひとつの舞台作品制作を通して実践的に学んでいます。

受講メンバーは、八戸のベテラン演劇人からアート初心者まで多彩な顔ぶれ。年齢も立場も違う方々の発想が集まって、いままでにないようなユニークな作品が生まれることでしょう。

現在は、1月に上演する舞台作品の制作のため、チームにわかれて取材を重ね、演出プランを練るための会議を実施しています。プロの音響・照明の方々との打合せ、舞台技術の習得、広報チラシ作成など、多岐にわたるプログラムを実施し、舞台公演本番へと向かいます。今後の活動にご期待ください。

受講生の集大成
舞台公演「八戸人生ミュージックシアター」

八戸で暮らす４人の人生に焦点を当て、音楽とともにお届けする舞台作品。
何気ない日常、どこにでもあるような暮らしにこそ、人生のドラマが潜んでいる。
そんな人生の数々をユニークな演出で舞台化いたします。

[日　時] 1月26日(日)　開場13:30　開演14:00
[入場料] 500円　※はっちインフォメーションにて販売中
[主催] アートプロジェクト制作実践入門講座実行委員会　[共催] 八戸市
[取材協力]
レグミ・ザムナ、髙島菊次郎、秋山美奈子、下舘敏幸　※敬称略